

東京外国語大学 国際関係研究所 主催

「多民族・多宗教社会における不寛容の位相と融和」研究会

現代アフガニスタンにおける対立と分断 — エスニシティと宗派を中心に —

アフガニスタンは、20世紀から現在の「ターリバーン暫定政権」に至るまで国際情勢や周辺国の影響を受けつつ、戦争や内戦が続いてきました。また、この間に国内の対立構造に基づく分断が深刻化し、現在ではその修復が困難な状況となっています。このような対立と分断はどのような状況で生まれたのか、本報告ではアフガニスタン現代史を概観しつつ、特にエスニシティと宗派に基づく対立と分断がどのように生じたのかについて検討します。

講師

登利谷 正人 氏
東京外国語大学 講師

司会・コメント

日下 渉 氏
東京外国語大学 教授

オンライン形式 (Zoom)

2025. **1.23** (木)

16:30~18:00

一般公開・参加無料
(主に研究者・実務家向け)

お申込はこちらから
1/22(水)正午締切



お問い合わせ先
iir-office @ tufs.ac.jp